

長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

認知症を知能から評価するテストとして長谷川和夫氏考案の「改訂・長谷川式簡易知能評価スケール」をご紹介します。専門家が使用するものですが、一般の人にも認知症がどの程度すんでいるか見ることができるはずです。

	質問内容	得点 (30点満点)								
1	お歳はいくつですか？ ※2年までの誤差は正解とする。	0/1								
2	今日は何年の何月何日ですか？何曜日ですか？ ※年、月、日、曜日が正解でそれぞれ1点づつ。	<table border="1" style="float: right; margin-left: 10px;"> <tr><td>年</td><td>0/1</td></tr> <tr><td>月</td><td>0/1</td></tr> <tr><td>日</td><td>0/1</td></tr> <tr><td>曜日</td><td>0/1</td></tr> </table>	年	0/1	月	0/1	日	0/1	曜日	0/1
年	0/1									
月	0/1									
日	0/1									
曜日	0/1									
3	私たちが今いるところはどこですか？ ※自発的にできれば2点。5秒おいて、家ですか？病院ですか？施設ですか？の中から正しい選択をすれば1点。なお、病院や施設名、住所などが答えられなくてもよい。	0~2								
4	これから言う3つの言葉を言ってみて下さい。 あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 ※以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく。また、一つの言葉に対して1点を与える。 ① a)桜 b)猫 c)電車 ② a)梅 b)犬 c)自転車	a:0/1 b:0/1 c:0/1								
5	100から7を順番に引いてください。 ※100引く7は？それからまた7を引くと？と質問する。最初の答えが不正解の場合は打ち切る。	<table border="1" style="float: right; margin-left: 10px;"> <tr><td>(93)</td><td>0/1</td></tr> <tr><td>(86)</td><td>0/1</td></tr> </table>	(93)	0/1	(86)	0/1				
(93)	0/1									
(86)	0/1									
6	私がこれから言う数字を逆から言って下さい。 ※6-8-2、3-5-2-9を逆に言ってもらう。3桁逆唱に失敗したら打ち切る。	<table border="1" style="float: right; margin-left: 10px;"> <tr><td>2-8-6</td><td>0/1</td></tr> <tr><td>9-2-5-3</td><td>0/1</td></tr> </table>	2-8-6	0/1	9-2-5-3	0/1				
2-8-6	0/1									
9-2-5-3	0/1									
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみて下さい。 ※自発的に回答があれば各2点。もし回答がない場合、以下のヒントを与え、正解であれば1点。 ヒント:a)植物 b)動物 c)乗り物	a:0~2 b:0~2 c:0~2								
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますので何があったか言って下さい。 ※時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なものを名前を言いながら一つずつ並べる。 答える順番は問わない。	0~5								
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く言って下さい。 ※答えた野菜の名前をメモ用紙などに記入する。 重複しても構わないが、途中で詰まり、約10秒間待ってもでない場合には、そこで打ち切る。 0～5 = 0点 / 6 = 1点 / 7 = 2点 / 8 = 3点 / 9 = 4点 / 10 = 5点	0~5								